

# 子育て応援券事業の検証結果に関する報告【概要版】

平成 22 年度の事務事業等の外部評価(杉並版「事業仕分け」)に対する区の対処方針に基づき、子育て応援券事業について、利用実績、利用者等へのアンケート結果等を踏まえ、有償制の影響把握・分析、事業の目的・効果の検証を行ってきたところであるが、その結果の概要は以下のとおりである。

なお、有償制の影響については、事業の検証に当たっての重要な視点として踏まえ、以下の各検証項目の中において把握・分析を行っている。

## 1. 応援券事業の概況

事業規模は縮小傾向

<データ編 4ページ>

- (1) 応援券の交付総額は、平成 19 年度から平成 21 年度まで、約 11 億円から約 12.5 億円程度で推移していたが、平成 22 年度には年度後半の有償制への転換により、約 8 億円まで減少している。平成 23 年度は、年度を通して有償制による交付となることから、交付総額がさらに減少することが見込まれる。
- (2) 応援券の利用額は、平成 19 年度の制度開始以降、平成 21 年度に 9.6 億円まで上昇した後、平成 22 年度には 7.8 億円に減少した。
- (3) 応援券サービス提供事業者は、平成 22 年度末には 1078 事業者まで増加した。しかし、鍼灸マッサージサービスの廃止に伴い、平成 23 年 4 月末には 870 事業者となっている。

## 2. 各種アンケートの実施状況

アンケートの種類	調査対象	調査対象数	調査期間	回答者数	回答率
利用者アンケート (有償対象者)	区内の就学前児童と一緒に住んでいる保護者	3,000人	4月12日 ~4月28日	820人	27.3%
利用者アンケート (出生時無償対象者)	22年度に出生時の応援券を交付した保護者	200人	4月12日 ~4月28日	61人	30.5%
事業者アンケート	応援券登録事業者(23年4月30日現在)	870事業者	5月20日 ~5月31日	575事業者	66.1%
一般区民アンケート (区民意向調査)	満18歳以上の区民	1,400人	5月20日 ~6月27日	1088人	77.7%

### 3. 事業全般についての検証

<データ編 4・5ページ>

応援券事業は、利用者さらには区民一般からも、地域の子育て支援策として高い評価。

- (1) 利用者アンケートから、地域の様々な人と関わったり外出のきっかけになっているとの回答や、子育てに疲れたり悩んだりしたときの支援として役立っているとの回答が多く寄せられている。
- (2) 区民意向調査において、応援券事業が子育てを地域で支えあう仕組みとして有効と半数近くの方が回答している。また、区が力を入れていると評価している施策として、「子育て支援」を挙げる者の割合が大きく伸びており、他の子育て支援策と相まって、区民一般からの評価も得ている。
- (3) ひととき保育などのサービス基盤の充実、さらには応援券をきっかけに子育て支援サービスを立ち上げた事業者の増加など、地域の子育て環境の向上に寄与している。

### 4. 応援券の交付についての検証

<データ編 5・6ページ>

有償制により、計画的な利用が促されている一方、購入世帯は約4割で、6割は未交付。  
出生から応援券交付まで、最大半年程度の期間

- (1) 有償制への転換後、購入世帯は約4割となっており、未就学家庭の6割には応援券が交付されていない。在宅での子育ての多い3歳未満の子どもの家庭についても、購入率は同様である。
- (2) 有償制への転換に伴い、サービスを計画的に利用するようになった反面、気軽に利用できなくなったとの意見が多く寄せられている。購入予定者の大部分は、購入前に利用予定サービスを決めている。
- (3) 有償制では、交付時期が子ども手当と連動し年3回となっていることから、子どもの出生から応援券の交付まで、長い場合には半年程度の期間を要している。

### 5. 応援券サービスについての検証

<データ編 6～8ページ>

サービス利用については、低年齢児の家庭と、それ以外の就学前児童の家庭で、異なる傾向。

#### (1) 低年齢児家庭で利用の多いサービス

事業の目的どおりの効果を挙げており、一般区民のうち子育てを応援するために必要と考える者の割合が多い。一方で、有償制への転換に伴い利用が減少する傾向が見られる。

#### (2) (1) 以外の就学前児童の家庭で利用が多いサービス

一般区民のうち子育てを応援するために必要と考える者の割合が高くなく、事業目的に沿った改善が必要と考えられるものがある。一方で、有償制への転換に伴い、利用が増加する傾向が見られる。

鍼灸マッサージサービスの廃止後、有償化への転換も相まって、親子参加のサービスの利用は、応援券の利用全体の中に占める割合が増加する傾向にある。

1	子どもを預かるサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0～5歳児のいずれの年齢の子どもの家庭においても、利用されている。</li> <li>・利用者から「子育ての不安が解消された」「子育てに自信やゆとりを持てるようになった」との声が多い。</li> <li>・区民意向調査において、応援券事業の対象とすることが適当と考える者の割合が49.05%と高い。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育施設、幼稚園での一時保育 など</li> </ul>	
2	産後のサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出生時の無償応援券の利用の40%が母乳育児相談となっている。</li> <li>・子育ての不安解消に寄与しているが、平成22年度の利用実績では、無償応援券の利用額全体に占める割合に比べ、有償応援券の利用額全体に占める割合は減少している。</li> <li>・区民意向調査において、応援券事業の対象とすることが適当と考える者の割合が30.1%と高い。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母乳育児相談</li> <li>・産後の日常生活のお世話 など</li> </ul>	
3	親サポートのサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスの見直しや有償制への転換により、サービスの大幅な利用減が見込まれる分野である。</li> <li>・家事援助は、保育園に通園している子どもの家庭での利用が多い。</li> <li>・区民意向調査において、応援券事業の対象とすることが適当と考える者の割合が34.2%と高い。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て相談・講座</li> <li>・家事援助など</li> </ul>	
4	親子の集いサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域に知り合いや仲間ができた」地域のサービスを知るきっかけとなった」との声が多い。</li> <li>・子育て家庭当事者によるグループなど、任意団体によるサービスの提供が多い。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集いの場やプログラムの提供など</li> </ul>	
5	親子で体験するサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応援券事業の開始以降サービス提供が増加した分野である。有償化に伴い、全体の利用額に占める割合が大きく増えており、今後も、利用増が見込まれる。</li> <li>・利用者の声から、「地域に知り合いが増えた」とあわせて「子どもの成長がうれしい」との声が多い。</li> <li>・一部の親子参加サービスで、一人当たり平均利用額が大きくなっている。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子で外国語・音楽・料理体験</li> <li>・リトミック</li> <li>・幼稚園での体験等</li> </ul>	
6	親子で鑑賞・イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の声として、外出して親子で楽しむきっかけとなったとの回答が多いが、地域とつながるきっかけとなったとの回答が少なく、家族同士の交流は少ない。</li> <li>・サービスの提供場所は、区外の事業者が多い。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子コンサート</li> <li>・季節のイベント</li> <li>・特定施設でのイベントなど</li> </ul>	

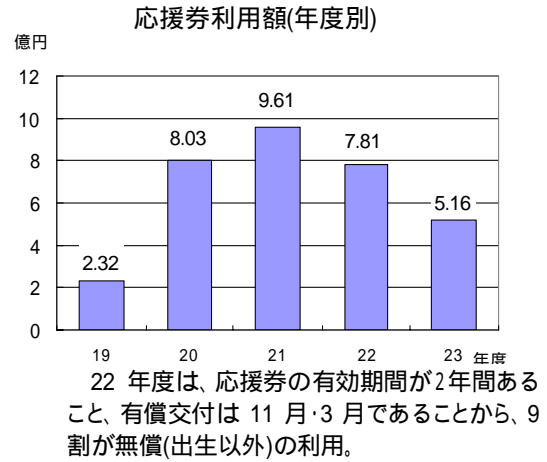
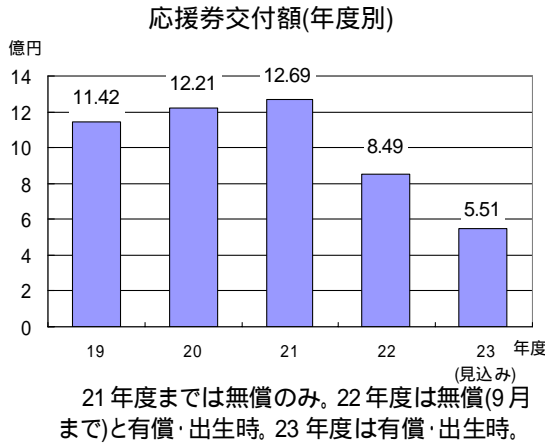
## 6. 出生時応援券についての検証

<データ編 8ページ>

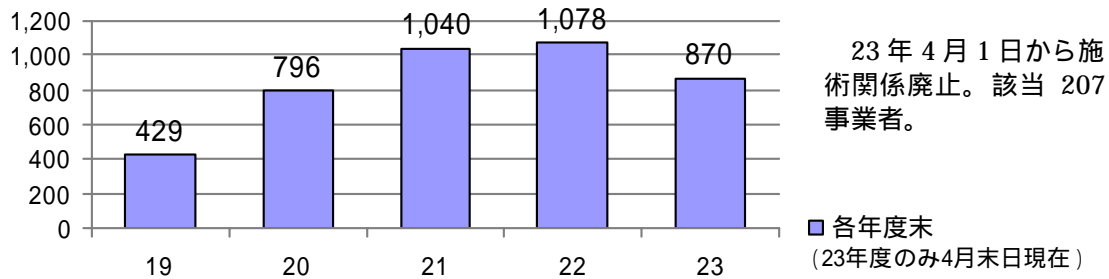
- (1) 利用者アンケートの回答において、「サービスを知ったり、利用したりするきっかけになっている」と、「思う」「やや思う」と回答する者の割合が93.4%と、大半の利用者が評価している。

1 応援券事業の概況

応援券交付額・利用額(年度別)



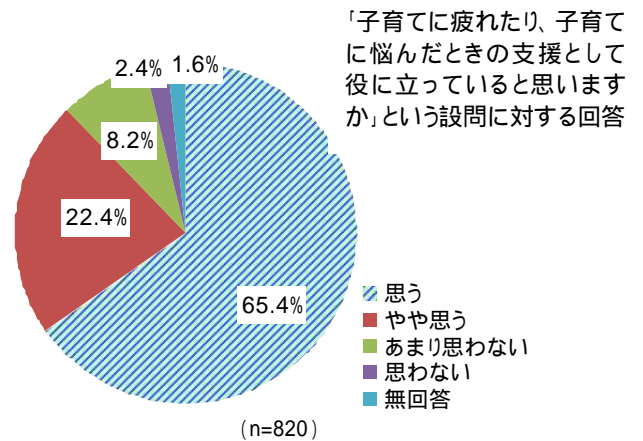
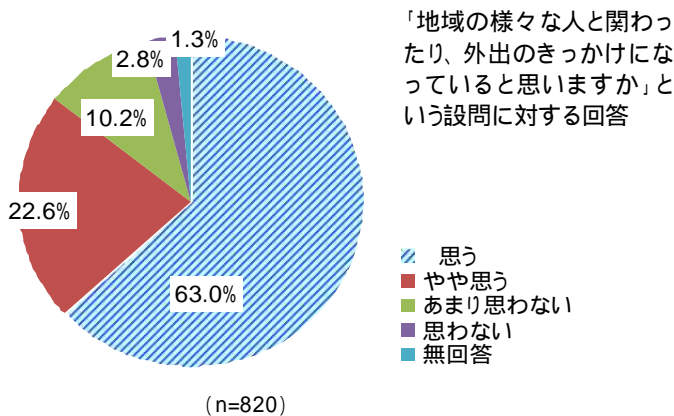
応援券のサービス提供事業者数



2 事業全般についての検証

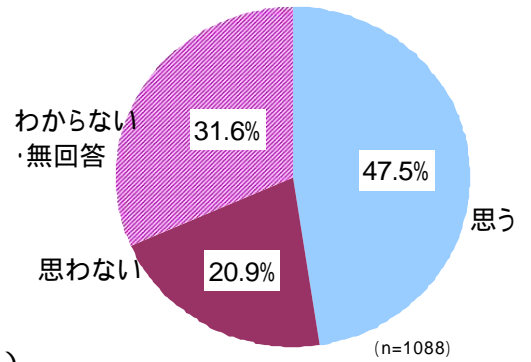
応援券事業に対する評価

利用者アンケート・有償対象より



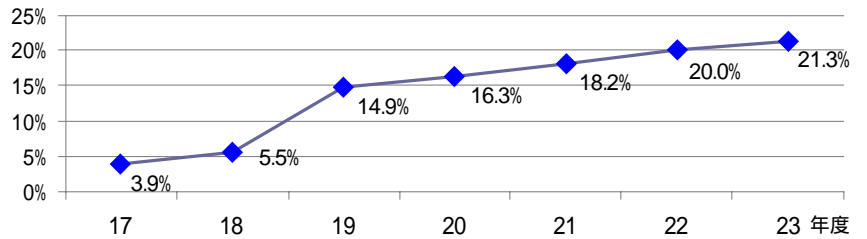
区民意向調査・速報版より

「応援券事業が子育て家庭にとって地域の様々な人と関わるきっかけとなり、子育てを地域で支えあう仕組みとして、有効だと思いますか」という設問に対する回答。



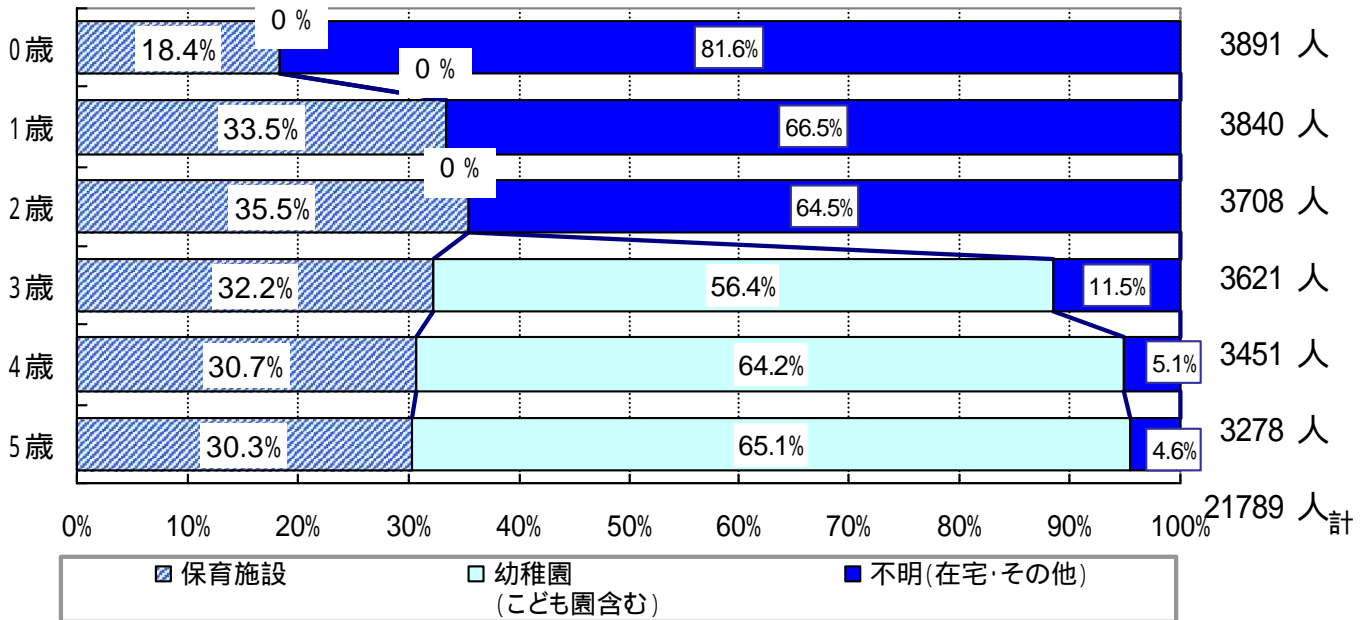
子育て支援施策に対する評価（区民意向調査・速報版より）

杉並区が力を入れていると評価している人の割合



3 応援券の交付についての検証

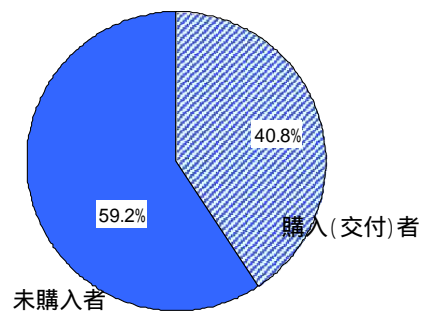
就学前の子どもの状況  
(保育課作成資料より)



平成23年5月1日現在。ただし、外国人登録の児童数のみ4月1日現在。

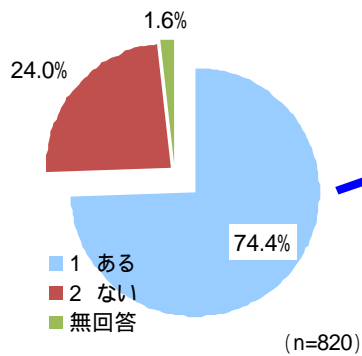
有償応援券の交付状況

22年度(11月・3月)  
の交付(購入)実績



## 有償化による影響 (利用者アンケート・有償対象より)

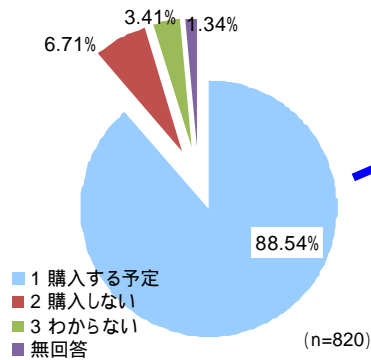
購入制になったことで変化はありますか



その変化の内容は  
(変化のあった610人のみ)

1 サービス内容を確認するようになった	7.0%
2 計画的に利用するようになった	25.1%
3 気軽に利用できなくなった	40.3%
4 購入費が気になり利用を少なくした	12.1%
5 その他	5.1%
無効・無回答	10.3%
	100.0%

23年度有償応援券購入予定は



23年度有償応援券利用予定のサービス  
について (購入予定者726人のみ)

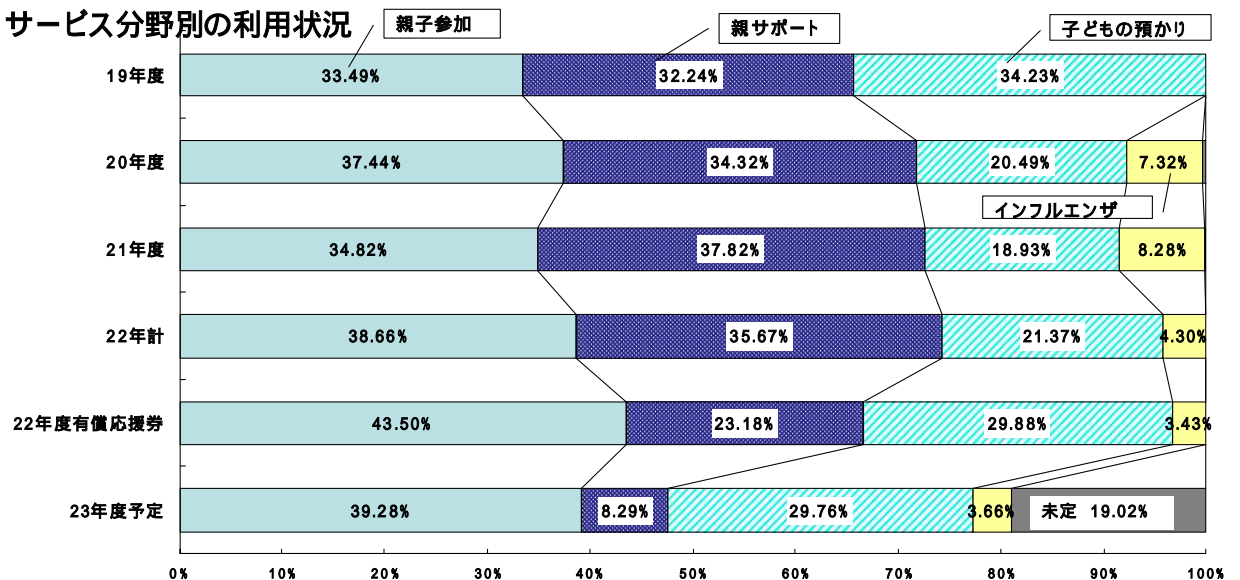
1 全部決まっている	32.7%
2 半分以上決まっている	35.5%
3 決まっているのは半分未満	16.1%
4 まだわからない	10.4%
無効	0.3%
無回答	5.1%
	100.0%

## 有償応援券の交付サイクル

	新規対象者	申込締切	支払い	応援券の交付
1回目	1月～4月の転入・出生	5月末	6月末	7月下旬
2回目	5月～8月の転入・出生	9月末	10月末	11月下旬
3回目	9月～12月の転入・出生	1月末	2月末	3月下旬

## 4 応援券サービスについての検証

### サービス分野別の利用状況



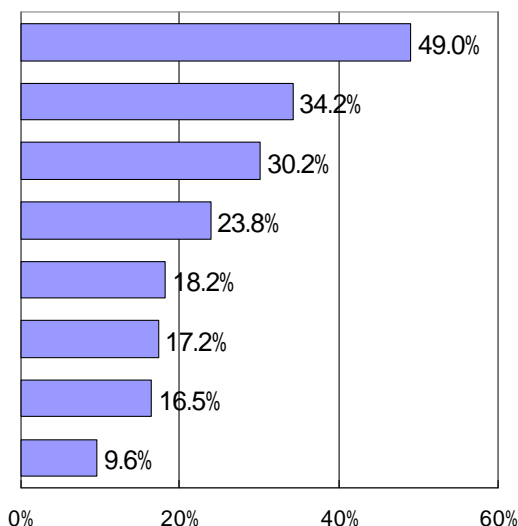
## サービス区分(6区分)ごとの状況

	19年度	20年度	21年度	22年度				事業者数	区内事業者の割合	任意団体の主体の事業者の割合
				計	応援券(無償)	応援券(有償)	出生時			
子どもを預かるサービス	34.23%	20.49%	18.93%	21.37%	20.76%	29.88%	3.91%	128	47.7%	4.7%
産後のサービス	17.83%	14.07%	14.65%	13.70%	13.84%	9.00%	72.03%	115	44.3%	12.2%
親サポートのサービス	14.41%	20.25%	23.17%	21.97%	22.59%	14.18%	21.33%	364	67.6%	15.7%
小計	32.24%	34.32%	37.82%	35.67%	36.44%	23.18%	93.36%	479	62.00%	14.8%
親子で体験講座	19.58%	27.45%	25.21%	28.98%	28.35%	38.28%	1.72%	487	69.8%	22.2%
親子の集いの場	1.43%	1.24%	1.86%	2.17%	2.16%	2.44%	0.63%	108	75.0%	34.3%
親子で鑑賞・イベント	12.48%	8.75%	7.75%	7.51%	7.92%	2.78%	0.36%	167	56.9%	34.7%
小計	33.49%	37.44%	34.82%	38.66%	38.42%	43.50%	2.71%	762	67.72%	26.6%
インフルエンザ予防接種		7.32%	8.28%	4.30%	4.38%	3.43%	0.02%	1	100.0%	0.0%
サービス分類不明	0.04%	0.43%	0.16%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%			
総額 (事業数)	23,216	80,315	96,081	78,149	72,078	5,779	291	1,370	875	280

## 応援券サービスに対する区民の意識 (区民意向調査・速報版より)

子育てを応援するうえで特に必要と思われるサービスに をつけてください。( は3つまで)

- 子どもを預けるサービス(一時保育、託児サービスなど)
- 親の子育ての不安を解消するサービス(子育て相談など)
- 産後のお母さんのためのサービス(産後のお母さんのためのお世話や母乳育児の相談など)
- 就学前の子どものインフルエンザ予防接種
- 親子が集い、交流するサービス(乳幼児親子が気軽に立ち寄り、情報交換ができる場など)
- 親の家事負担を軽減するサービス(家事援助、ハウスクリーニングなど)
- 親子で参加するサービス(乳幼児親子が参加できる催しや講座など)
- 親の子育て力を高めるサービス(子育てに関する講座など)



## 子どもの状況別サービスの利用状況 (利用者アンケート・有償対象より)

	未就園 (回答者数226人)	保育園 (回答者数241人)	幼稚園 (回答者数334人)
1	ひととき保育・保育施設などでの一時保育 21.6%	産後の母への整体などの民間療法 10.6%	ひととき保育・保育施設などでの一時保育 23.4%
2	産後の母への整体などの民間療法 9.1%	子育て中の親への国家資格者による施術 10.2%	親子で音楽体験 11.7%
3	母乳育児相談 8.3%	ひととき保育・保育施設などでの一時保育 9.3%	親子でリトミック 9.9%
4	親子でリトミック 7.9%	家事援助・ハウスクリーニング 8.4%	幼稚園での一時保育・一時預かり 9.0%
5	親子でからだを動かす講座 7.9%	母乳育児相談 8.0%	親子で外国語体験 4.5%

サービス利用状況・子どもの年齢別

(利用者アンケート・有償対象より)

0歳児 7,523万円			1歳児 26,081万円			2歳児 17,111万円		
1	母乳相談・育児相談等	19.56%	ひととき保育など保育施設での一時保育	17.03%	ひととき保育など保育施設での一時保育	15.39%		
2	ひととき保育など保育施設での一時保育	12.73%	子育て中の親への健康相談と国家資格者の提供する施術	13.13%	子育て中の親への健康相談と国家資格者の提供する施術	13.37%		
3	子育て中の親への健康相談と国家資格者の提供する施術	12.13%	産後の母への民間療法	9.40%	親子で音楽体験	9.15%		
4	産後の母への民間療法	11.92%	リトミック	7.54%	リトミック	8.76%		
5	自宅での託児サービス	4.77%	母乳相談・育児相談等	6.53%	産後の母への民間療法	5.99%		

3歳児 10,625万円			4歳児 7,613万円			5歳児 9,196万円		
1	子育て中の親への健康相談と国家資格者の提供する施術	15.94%	子育て中の親への健康相談と国家資格者の提供する施術	15.58%	子育て中の親への健康相談と国家資格者の提供する施術	19.79%		
2	親子で音楽体験	13.34%	親子で音楽体験	14.63%	幼稚園での一時保育	9.45%		
3	ひととき保育など保育施設での一時保育	9.29%	幼稚園での一時保育	8.74%	親子で音楽体験	8.94%		
4	幼稚園での一時保育	6.44%	インフルエンザ予防接種	6.05%	観劇・人形劇・ミュージカル	7.61%		
5	インフルエンザ予防接種	5.03%	ひととき保育など保育施設での一時保育	5.97%	ものづくりの親子講座	7.57%		

22年度無償応援券を利用した感想・サービス別 (利用者アンケート・有償対象より)

子育ての不安が解消された		子どもの成長がうれしかった		子育てに自信やゆとりを持てるようになった		地域に知り合いや仲間ができた		
1	母乳育児相談	21.0%	親子で外国語体験	30.8%	ひととき保育・保育施設などでの一時保育	15.8%	親子の集い場	21.2%
2	ベビーマッサージ・食育講座	8.9%	親子で音楽体験	30.6%	母乳育児相談	12.2%	親子でリトミック	19.5%
3	ひととき保育・保育施設などでの一時保育	3.0%	親子でリトミック	29.8%	ベビーマッサージ・食育講座	11.0%	ベビーマッサージ・食育講座	18.5%
4			親子でからだを動かす講座	22.5%	幼稚園での一時保育・一時預かり	9.6%	産後の母のフィットネス、ヨガなど	18.4%
5			その他の親子講座	18.7%	子育て中の親への国家資格者による施術	9.4%	親子でからだを動かす講座	18.3%

育児または家事の負担が軽減された		家族と一緒に過ごすきっかけになった		地域のサービスを知るきっかけになった		応援券で支払うことができたから、利用できた		
1	家事援助・ハウスクリーニング	36.1%	人形劇・コンサートなど鑑賞事業	28.2%	親子の集い場	18.2%	インフルエンザ予防接種	46.4%
2	幼稚園での一時保育・一時預かり	28.9%	施設などでのイベント	27.4%	ベビーマッサージ・食育講座	11.0%	子育て中の親への国家資格者による施術	35.0%
3	自宅での託児サービス	26.2%	ものづくりの親子講座	9.0%	親子でからだを動かす講座	10.0%	産後の母への整体などの民間療法	31.1%
4	ひととき保育・保育施設などでの一時保育	25.2%	その他の親子講座	6.5%	人形劇・コンサートなど鑑賞事業	5.6%	施設などでのイベント	28.4%
5	産後の母への整体などの民間療法	13.6%	親子でからだを動かす講座	5.8%	産後の母への整体などの民間療法	4.7%	自宅での託児サービス	26.2%

5 出生時応援券についての検証

無償応援券交付に対する評価

(利用者アンケート・出生無償対象より)

「出生時の応援券は、サービスを知ったり、利用したりするきっかけになっていると思いますか」という設問に対する回答。

